

群馬大学大学院理工学府電子・機械部門 教員公募

1. 職 名 准教授
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 大学院理工学府 電子・機械部門 電子情報通信プログラム
4. 業務内容 研 究
超高速・低消費電力化を実現する次世代光通信（光コンピューティング、
光電融合など）に関する研究開発
教 育
・ 大学院・学部学生に対する教育・研究指導
・ 担当授業科目
（学 部）（専門教育）電子・機械基礎実験、電子情報通信実験Ⅰ、光工学、
通信ネットワーク、課題発見セミナー、課題解決セミナー、プロ
ジェクト参加研究 等
（教養教育）担当科目は着任時のカリキュラムに基づき決定
（大学院）光デバイス工学特論、波動情報工学特論、先端波動情報特論、理
工学特別演習、理工学特別実験、理工学研究特別演習、理工学研
究特別実験 等
その他
・ 理工学部・理工学府の管理運営に関する業務
・ 理工学部・理工学府が進める社会貢献活動への参画・協力
・ 学内研究センターの活動への協力もお願いすることがあります。
5. 勤 務 地 桐生市天神町 1-5-1 桐生キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 9 年 4 月 1 日（以降のなるべく早い時期）
8. 専門分野 大分類：ナノテク・材料 小分類：光工学、光量子科学
大分類：ものづくり技術 小分類：通信工学
小分類：電子デバイス、電子機器
大分類：自然科学一般 小分類：半導体、光物性、原子物理
9. 任 期 5 年

任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は任期の定めのない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。

10. 応募資格 次のいずれも満たす者
- (1) 博士の学位を有する方、あるいは着任までに博士学位取得予定の方
 - (2) 超高速・低消費電力化を実現する次世代光通信（光コンピューティング、光電融合など）に関する優れた研究業績を有し、世界的レベルの研究を推進できる方
 - (3) 教育研究に関わる社会貢献活動、学内運営業務等において協調性を持ち、積極的に取り組める方
11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり
- 本学教職員就業規則及び 2 号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
- ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
- 教職員就業規則
- https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
- 2 号年俸制適用教員給与規則
- https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf
12. 就業時間 8：30～17：15 を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
- (1 日 7 時間 45 分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6 か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
- 年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙（ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置）
17. 応募締切 令和 8 年 10 月 30 日必着
18. 提出書類
- (1) 教員個人調書（本学所定様式）
 - (2) 教育研究業績書（著書・学術論文等の総括表を含む）（本学所定様式）
 - (3) 科学研究費補助金等の受給状況（本学所定様式）
 - (4) 査読付き学術論文 5 編以内の別刷りまたはコピー

- (5) これまでの研究概要 (1,500 字程度)
- (6) 研究、教育および地域貢献に関する抱負 (1,500 字程度)
- (7) 上記書類を一つの PDF ファイルとして保存した記録媒体 (CD, DVD, USB メモリ)

19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目 5-1
群馬大学大学院理工学府 電子・機械部門
電子情報通信プログラム長 三浦 健太
簡易書留にて「電子・機械部門准教授(光コンピューティング分野)教員応募書類」と朱書きのうえ、郵送願います。
なお、提出書類は原則として返却いたしません。

20. 選考内容 書類選考の後、必要に応じて面接を行います。
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担

21. 問い合わせ先 群馬大学大学院理工学府 電子・機械部門
電子情報通信プログラム長 三浦 健太
電話: 0277-30-1797
e-mail: mkenta(\$)\$gunma-u.ac.jp (\$)は@に置き換えてください。

22. その他

- (1) 応募書類に記載された個人情報は、本選考以外の目的には使用しません。
- (2) 群馬大学は男女共同参画を推進しており、業績(研究業績, 教育業績, 社会的貢献等)及び人物の評価において同等と認められた場合には、積極的に女性を採用します。
なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。
(リンク先: <https://diversity.gunma-u.ac.jp/support/research/>)
- (3) 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。